

令和7年度〔自己評価報告書〕

学校番号	学校名	校長名
215	川崎市立日吉中学校	中川 薫

学校教育目標	今年度の重点目標
<p>○創造力を持った心豊かな人になろう ○礼儀と責任を重んじ、実行力のある人になろう ○健康で教養のある人になろう</p>	<p>○好ましい人間関係づくりを意識し、人を思いやる心・自他の違いを認める心の育成 ○生徒理解を深め、個々に応じた支援教育の実践や教育相談体制の充実 ○自己肯定感・自己有用感が得られる教育活動の充実 ○生徒が主体的に活動できる教育活動の充実 ○UD・UDLを取り入れた授業づくりの確立 ○生徒の特性や習熟度に応じた個別最適な学びの充実 ○学び合い活動の推進と授業をファシリテートする力の向上 ○新学習指導要領をふまえた指導と信頼性、妥当性の高い評価の一体化 ○豊かな生き方や、夢や希望に向かって努力するキャリア教育と進路指導の充実 ○心身の成長を促進し、目標に向かって協力しあう部活動の推進 ○ウェルビーイングを意識した健康指導や保健指導 ○家庭や地域との連携の強化 ○学年・学級通信、学校ホームページ等による保護者や地域への積極的な情報発信 ○地域教育会議やコミュニティスクール等との連携による教育活動の充実</p>

評価項目	具体的な取組	成果と課題	具体的な改善策
1 心の通い合う人間関係と豊かな人間性の育成	<ul style="list-style-type: none"> ○ウェルビーイングを意識した教育活動(希望・行動・思いやり)(自信・思いやり・挑戦) ○「気づき考え行動する」ことができる生徒の育成 ○生徒の主体性を育む活動の推進 ○共生・共育プログラムの効果的な活用 ○学級会の充実 ○教育相談の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・人権尊重教育の研究推進校としてウェルビーイングを意識した教育活動を実践する中で、「気づき考え行動する」ことができる生徒の育成が図れるとともに生徒と教職員が同じ目標をもつことができた。 ・特別活動の充実を図り生徒の主体性を育成した。また学級会を多く開き、課題解決能力の育成が図れた。 ・人権尊重教育を通して互いに認め合う態度の育成が図れた。 ・職員研修を重ね、教職員の資質能力の向上を図り、人権尊重教育を充実することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人権尊重教育をあらゆる教育活動の基盤に置き実践を重ねた結果、生徒自身が自分及び他者の人権を大切にできる態度を育成することができた。また生徒自信が決めた「自信」「思いやり」「挑戦」の3つの要素を各教育活動の教育目標に取り入れ実践することで生徒の成長を育めた。 ・生徒の主体性の育成に大きな成果があった。学習を含め、今後も自ら「気づき・考え・行動する」生徒の育成に努め、目標に向け主体的に努力ができる生徒の育成に注力したい。
2 確かな学力が身につく学習活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒の意欲がわき、わかったと実感できる授業の実践 ○主体的に学びに取り組む生徒の育成 ○授業の中で自分の考えを持ち、学びあいに意欲的に参加する生徒の育成 ○視聴覚教材やGIGA端末の積極的な活用によるUDLや個別最適な学びの推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・わかったと実感できる授業の実践し主体的に学びに向かう生徒の育成に注力した。一方困り感ある生徒への対応に課題が残った。 ・UD/UDLを土台とし、生徒が目標を持ち、自ら工夫して授業に参加し課題解決を図る資質能力の育成に努めた。効果も表れはじめ、目的意識をもち学びに向かう生徒が増えた。 ・自分の考えを持ち積極的に話し合いに参加する生徒の育成を図った。 ・GIGA端末を効果的に活用した授業実践ができた。ICT等を上手に活用することで個別最適な学びを進めることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に目標を持ち、自ら主体的に学びに向かう生徒の育成に注力し、大きな成果を出すことができた。一方受動的な学びで満足してしまう生徒も一定数存在する。次年度は今年度の取組を更に充実させ、生徒個々に目標を持たせ、個別最適な学びと協働的な学びを取り入れ、自らの力で主体的に学習に取り組むことができる生徒の育成を図りたい。 ・GIGA端末の活用を効果的に行っている授業が多くなっている。個別最適な学びが深まるよう継続的に職員研修を行いたい。
3 心身ともに健康で逞しく生きる生徒の育成	<ul style="list-style-type: none"> ○アンケートや教育相談の推進による生徒理解の徹底 ○仲間と喜びや痛みを共感する部活動指導 ○過ごしやすく、整理整頓された校内環境整備 ○規範意識を向上させる生徒会活動や委員会活動 ○「いいきこみつけ」の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ウェルビーイング」について学級会や評議委員会を通じて討議し、心身ともに健康で幸せな状態でいられるための行動目標の具体化が図れるとともに多くの実践をみるることができた。 ・部活動を通して、目標に向かってチーム一丸で努力する姿を育成することができた。 ・ユニバーサルデザイン化した教室環境づくりに努めた。委員会活動を中心に校内美化活動の充実を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人権尊重教育を通じて、学習している内容が実際の行動に直結していけるようになってきた。一方で、生徒の中には他者の気持ちを傷つける行動や、自分自身の可能性を信じられず、自己肯定感の引き考えを持つ生徒も存在するため、さらに学びを深めたい。 ・部活動では各部目標に向けて自分たちで課題を考え練習に取り組むようにしていきたい。大きな目標に対するスモールステップの取組を常に考えさせ、生徒の主体的な考えが日頃の練習や取組に反映されるように転換していきたい。
4 地域から信頼される、魅力ある学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○授業参観や学級懇談会等の定期的な開催 ○学校ホームページの定期的な更新や学級通信等の情報配信の充実 ○PTAや地域教育会議との連携による教育活動の充実 ○オンライン配信等、教育活動の可視化の推進 ○コミュニティスクールの効果的な運営 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業参観や学級懇談会の数を増やすことで、生徒の様子や学校の様子の周知に努めた。 ・学級通信、学校だよりを継続的に発行し、生徒の活躍や学校の様子を周知した。 ・地域教育会議との連携が深まり、地域参画に主体的に取り組む生徒の育成が図れた。 ・オンライン配信を通じて教育活動の可視化に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・シチズンシップ、シビックプライドの考え方を浸透させ、地域行事等に参画させていきたい。 ・PTA、地域教育会議、おやじの会、コミュニティスクールなどとの連携を大切にし、子どもたちに学校以外での教育の場を生み出していきたい。 ・今年もホームページの更新が滞った。次年度こそ計画的に更新していきたい。
学校関係者の評価		学校運営のまとめ	
<p>・学校評価の結果を見ると、多くの生徒たちが充実した学校生活を送っていることや努力していることが感じられる。一方先生方の評価が生徒に比べて低いような気がする。もっと生徒たちの頑張りを認めることが必要ではないか？</p> <p>・人権尊重教育の取組に教育的効果がよく表れているように思える。多くのフォーラムを開いたことから、生徒個人の考え方が深まったのではないだろうか。</p> <p>・学校行事や部活動に一生懸命に生徒が取り組んでいることがわかります。成果もでています。</p> <p>・授業を実際に参観し、GIGA端末を使いこなす生徒たちに驚きました。熱心に授業に参加していて感心しました。AIがあたりまえの世界がすぐに来る。変化への対応を学んでいってほしい。</p>		<p>・2年間人権尊重教育を基盤とした教育活動を行い、多くの成果が表れている。このことを次以降の教育活動の基盤とし、さらなる生徒の成長を促す教育活動を展開したい。</p> <p>・生徒自らが設定した行動目標をさらに充実させたい。「自信・思いやり・挑戦」をあらゆる場面で効果的に活用し、生徒会活動や授業をさらに活性化させたい。</p> <p>・生徒が主体的に学習に取り組めるように、個別最適な学びと協働的な学びを視点においた授業を実践する。特にGIGA端末の活用について研究を重ねていきたい。</p> <p>・おやじの会や地域教育会議の活動に生徒が積極的に参加できるようにし、地域との連携を強化したい。さらに、保護者や地域との連携を進化し、魅力ある学校づくりに努めていきたい。</p>	